

日本フードシステム学会
会員各位

2013年10月
学会賞選考委員会

2014年度日本フードシステム学会
学会賞推薦受け付けを開始するにあたって

本年度の学会賞の推薦受け付けを開始するにあたり、会員各位へひとことお願い申し上げます。

ご案内の通り、本学会の学会賞はフードシステム研究の進歩、フードシステムの発展に寄与した会員のこれまでの業績や成果を顕彰し、会員の活動をより活発化することを目的としております。特に学術賞、研究奨励賞においては、会員からの推薦を基に審査を行い、授賞を決定しております。会員各位におかれましては、学会賞にふさわしいと思われる業績を積極的にご推薦いただければ幸いです。

学会賞規程および同審査規程が2012年6月の総会で一部改正されて、研究奨励賞の候補者の年齢を「40歳以下」としていたところを年齢制限の撤廃をして、40歳を超える方でもフードシステム研究の「研究歴が長くなく」、加えて「挑戦的な研究」を行っていたら推薦できるようにいたしました。

学術賞と研究奨励賞の審査対象となる業績は、以前より「著書または論文」としておりますが、選考委員会としては、特に研究奨励賞については、『フードシステム研究』で発表した複数の論文だけでも十分に評価に値すると考えていることを強調しておきます。なおここで「複数」とは、単著もしくはファーストオーサーの論文「2編以上」を意味しておりますが、それらは相互に関連して「一連」の研究を構成していることが求められます。また、ファーストオーサーでない論文は参考資料とさせていただきます。

現在の状況をご理解いただきまして、これまでに増して多くのご推薦があることを期待しております。

以上

2013年10月

2014年度学会賞候補者の推薦について

日本フードシステム学会
会長 齋藤 修

標記の件に関し、下記の要領にて今年度の受け付けを開始いたします。ご推薦いただきますようお願い申し上げます。なお、2014年度の選考の対象は、学術賞・研究奨励賞・フロンティア賞・功績賞とします。

記

(1) 候補者の資格

- (ア) 学会賞の候補者は、日本フードシステム学会の正会員（学生会員を含む）であること。
- (イ) 研究奨励賞の候補者は、研究歴が長くない会員でフードシステム研究における顕著な挑戦的研究を行った正会員であること。
- (ウ) フロンティア賞については、(ア)の正会員に賛助会員を含めて読み替えることができます。

(2) 推薦者の資格

推薦は正会員の連名で行うことができます。ただし、理事の場合は単独で推薦をおこなうことができます。

(3) 審査対象となる業績

学術賞・研究奨励賞については、2011年9月1日から2013年8月31日のあいだに公表された著書または論文とします。特に研究奨励賞については『フードシステム研究』で発表した一連の研究も業績として評価します。フロンティア賞については、著書・論文に代わる形式で公表された業績も審査の対象とします。また、功績賞については永年にわたりフードシステム研究の組織化、研究成果の編集・公刊等を通じて本学会活動に大きく貢献した業績を審査の対象とします。

(4) 提出する書類（いずれも7部）

- (ア) 推薦書（別紙の様式による）
- (イ) 審査対象となる業績（コピーも可）
- (ウ) 候補者略歴

(5) 送付先

学術賞および研究奨励賞、功績賞

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科 中嶋康博

フロンティア賞

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

日本女子大学家政経済学科 安倍澄子

(6) 提出期限

2013年11月30日